

2011年12月26日、27日

岩手県釜石市鶴住居（根浜）宝来館、鶯（うゝの）！はまなす商店街での 能舞披露。

12月26日（月） 17:00～ 宝来館 再オープン記念 能舞

10年来 横浜の子供たちがお世話になってきた『宝来館』の再建オープン記念として、海をつくる会 会員ダイバーであり、 室町時代からの伝承 第14代 笛師 寺井氏、そして 能楽師匠の方々により結成された『能楽の心と癒しプロジェクト』とのコラボにより 今回 実現出来ました。

再建された宝来館の地固め、お祓いを込め『三番三』そして 天女が舞う『羽衣』を舞ました。

海をつくる会は、再建をお祝いする為に『大漁旗』そして皆さまをお迎えする玄関に 寒さに強いパンジー等 30鉢をプレゼントさせていただきました。



(右側 宝来館 女将さん)



(左から 坂本、佐藤、内藤、寺井)



(三番三)



(羽衣)





(皆さまをお迎える玄関へ)



(再建した宝来館)

12月27日(火) 午前10:00～ 鶉(う～の)！はまなす商店街にて。

鶉(う～の)！はまなす商店街オープン記念

# 能と狂言

狂言 瘻痺  
 太郎冠者 大蔵千太郎  
 主人 小堀 道人

能 菊慈童  
 シテ 八田 達弥  
 ワキ 野口 龍弘  
 笛 寺井 宏明

イラスト: Kyoran  
<http://netpobassozoku.net/f22.html>

会場の都合上、実行の一部省略等がございますこと、  
 あらかじめご了承ください。

平成23年12月27日(火) 午前10時  
 鶉(う～の)！はまなす商店街 特設ステージ  
 入場無料 岩手県盛岡市鶴住居町 3-7-2

問い合わせ 090-2362-5012 宝来館(伊藤)  
 企画制作 能楽の心と癒しプロジェクト+海をつくる会

仮設商店街(鶉住居)『鶉(う～の)！はまなす商店街』にて皆さまに笑顔届けたく、狂言『瘻痺』。そして『菊慈童』は名水「菊水」をのむことによって700歳を経てなお、若々しい童顔の姿を保っていた菊慈童。そればかりではなく菊水は山間を潤して流れ、麓に暮らす村人たちも千歳一遇の長寿を得て健やかに過ごしていた。と言われる中国の神仙伝を、日本独自として舞ってみせました。悲運に耐えて仏の功德によって贖(あがな)った菊慈童こそが、この世に不死の霊薬を運ぶ役目を負っている。という物語。被災された皆さまに健やかに過ごされることを祈り、舞を行いました。

風つよく 大変寒い朝でしたが、狂言『瘻痺』では皆さまの笑顔や笑い声が、嬉しい舞でした。



(狂言『瘻痺』しびり)



(『菊慈童』)





『能楽の心と癒しプロジェクト』メンバー  
(左から 寺井氏、大蔵氏、小梶氏、八田氏)



(手前 野口氏)



多くの取材も来ていただきました。  
(右) 読売新聞 全国版



『能楽の心と癒しプロジェクト』メンバーと 海をつくる会は、2012年もコラボを 継続し、海底瓦礫清掃には、極力同行することとなりました。

2011年3月11日の東北地震では、多くの方々が亡くなり、未だ 行方不明の方々もいらっしゃいます。ご冥福をお祈りするとともに、海をつくる会は、「私たちができること」を探し、企画し、皆さまに少しでも笑顔をお届けできればと願い、2012年も活動してまいります。

本年度は、多くの方々からの支援をいただきました。本当に感謝申し上げます。

2012年こそは 良い年でありますように！ ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

海をつくる会 事務局長 坂本昭夫